

審議会の要旨記録

|          |                                                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称    | 令和８年度第２回松伏町子ども・子育て支援審議会                                               |
| 開催日時     | 令和８年７月１４日（火）<br>14時00分～15時10分                                         |
| 開催場所     | 松伏町役場第二庁舎３階 303 会議室                                                   |
| 出席者・出席数  | 委員８名<br>会長、副会長、委員（６名）                                                 |
| 欠席者・欠席数  | 委員２名                                                                  |
| 担当課職員    | 事務局：３名<br>すこやか子育て課職員                                                  |
| 会議次第     | １．開会<br>２．会長あいさつ<br>３．議事<br>（１）松伏町こども・若者未来計画の素案について<br>（２）その他<br>４．閉会 |
| 配布資料     | 【資料１】松伏町こども・若者未来計画（素案）                                                |
| 会議録の作成方法 | 録音データを使用した要点記録                                                        |

| 審議会の経過  |                                                                                                                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者     | 議題・発言内容・決定事項等                                                                                                                                                                           |
| 司会（事務局） | 1 開会                                                                                                                                                                                    |
| 会長      | 2 会長あいさつ<br>新聞に、EUで「こどものSNS利用制限へ」という記事があった。規制についての是非や年齢で制限することについて検討が必要だという話題である。最近のこどもたちは、ワクワクするような実体験の機会が少なくなっていると思う。この審議会で町のこども達が遊びを通してワクワクし、興味の芽を育てられるような人生を送れるよう、町の在り方を議論していただきたい。 |
| 司会（事務局） | 事務局紹介<br>委員の出席状況を報告、本日の会議が成立することを確認した。                                                                                                                                                  |
|         | 3 議事<br>(1) 松伏町こども・若者未来計画の素案について<br>【資料1】松伏町こども・若者未来計画（素案）<br>事務局より説明                                                                                                                   |
| 委員1     | 8ページの児童館の利用人数について、令和3年度と令和7年度（予測）を比較して「1.5倍に増加している」とあるが、令和3年度はコロナ禍の影響が考えられる。増加を示すには適切かどうか気になる。<br>また、48ページの施策名「学校応援団」に記載されている内容が「保育園・幼稚園と小学校の円滑な連携」になっている。「保幼小連絡協議会」ではないか。              |
| 委員2     | 学校ごとに行っている取組が「学校応援団」だと認識している。                                                                                                                                                           |
| 事務局     | (2) その他として取り上げる予定であった箇所である。担当課の事業計画を元になっている。今一度確認する。                                                                                                                                    |
| 会長      | 保幼小連絡協議会も重要な事業である。掲載のくくりについても適切に進めてほしい。                                                                                                                                                 |
| 副会長     | 46ページの小学校の連携については、松伏町独自に行われており素晴らしいと感じている。連携をまとめる柱があっても良いのではないかと感じた。                                                                                                                    |
| 委員3     | 素案に記載の名簿について、私の所属と町立第一保育所保護者会の代表の方の記載が誤っている。                                                                                                                                            |

| 審議会の経過 |                                                                                                                                      |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者    | 議題・発言内容・決定事項等                                                                                                                        |
| 事務局    | 訂正する。                                                                                                                                |
| 委員 4   | 緊急サポートセンターの利用状況について説明してほしい。                                                                                                          |
| 事務局    | 年間 10 件以下で推移している。内容としては、病児の預かりが中心となっている。宿泊の利用はない。                                                                                    |
| 委員 5   | 40 ページの健康への支援について、松伏町では「5 歳児健診」は導入する予定か。就学前の発達の芽を育てるという意味でも、5 歳児健診の導入を検討している自治体が増えている。                                               |
| 事務局    | 1 歳児健診は予算化されたが、5 歳児については自治体の負担額との兼ね合いから現時点では導入できていない。今後、国からの補助金等の動向を見極めながら検討していきたい。                                                  |
| 副会長    | 48 ページの「協同」は「協働」の誤字と思われる。                                                                                                            |
| 事務局    | 訂正する。                                                                                                                                |
| 副会長    | 統計の細かいデータが示されており、松伏町の今の姿が良く分かったと感じた。全体的な概要が分かるようになっていればより良いと感じた。                                                                     |
| 委員 1   | 保育の現場でも若い保護者の様子から、こどもに動画などを見せることに全く抵抗がないように感じる。そのような世代なのであり、その結果こどももスマホの操作に慣れている。悪い面だけではなく、防犯の機能のような良い面もある。バランスよく活用できるよう検討する必要がある。   |
| 委員 6   | A I に使われるのではなく、A I を使いこなす側にならなければいけない。子育てでも、データ上は「3 歳ならこう」という基準があるが、個性を尊重することが一番大切。A I に振り回されない「思考力」を持った人間に育てるという視点も忘れてはいけないと感じている。  |
| 委員 2   | こどもや若者に向けた沢山の事業があると感じた。<br>民生委員をしており、高齢者と接する機会が多いが小中学校を訪問することもある。ヤングケアラーの問題など家庭に課題のある場合も多い。そうした家庭のこどもたちが孤立しないよう、町としてどう見守りサポートしていくかも重 |

| 審議会の経過 |                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者    | 議題・発言内容・決定事項等                                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員 4   | <p>要な施策だと感じた。</p> <p>支援する側として対応しているケースには特殊と感じられる場合もある。しかし、支え手が足りていない。保護が必要なケースもあった。現実と仮想空間の区別がつかない子、雑巾が絞れない子など実体験が乏しいように感じる。大人が一緒にやってみる経験が減っているように感じている。</p>                                                                                     |
| 委員 3   | <p>学童保育では、来週から夏休みに入る。夏休みは朝 7 時半から夜 7 時まで、12 時間近く開室している。こどもにとってもストレスの溜まる長い時間となる場合もあるため、できるだけ体験を重視した内容を考えている。一方、送迎があることで保護者と接する機会が多いが、スマホから目を離さない保護者もいる。</p> <p>施策にもあるこども会議の実施も協力できると考えている。</p> <p>松伏町では学校と学童の連携もあり素晴らしい。ネットワークの良さを計画に活かしてほしい。</p> |
| 委員 5   | <p>幼児期には、幼稚園、保育園、認定こども園と大きく分けて 3 つの幼児が過ごす場があり、それぞれの願いの中で育っている。小学校に入るとそれらが 1 つになるのだが、その違いについて国でも現場のことを知りたいという動きがある。3 つの異なる願いが 1 つになってほしいと提案しているが、受け入れている年齢の差があるなどなかなか難しい。どのこどももこどものための遊びの中で育つ平等な環境で育ってほしいと感じている。</p>                              |
| 会長     | <p>「ネウボラ」というフィンランド発の日本でいう民生児童委員のようなイメージの妊娠・出産・育児を担当して支援する制度がある。このような仕組みが日本でも充実すれば、安心して産み育てられるのではないだろうか。59 ページの「こどもまんなか社会」の説明の中で「ウェルビーイング」という言葉もキーワードになっている。お互いに良い状態であることであり大事にしたい考え方だと思う。さらに、「こども誰でも通園制度」なども始まっている。松伏町ならではの良い計画にしてほしい。</p>       |
| 事務局    | <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保幼小連絡協議会と学校応援団の記載について</li> <li>・ 次回の審議会について</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>                                                                                              |